国際シンポジウム

「東アジア穀物史の最前線
：モジとモノからのアプローチ」



熊本大学黒髪北地区キャンパスマップ

日　時：2026年11月28日（土）　13：30-16：30
会　場：熊本大学黒髪北地区文法学部本館1階　A3教室

オンライン併用

ZOOM：https://zoom.us/j/91380593615
ミーティングID：913 8059 3615
パスコード：8FuTNXC3

- 申し込み不要
- 通訳有
- 参加費無料

13：30—13：40
久保田 慎二（熊本大学人文社会科学研究部）
「東アジア穀物史の現状：趣旨説明にかえて」

13：40—14：30
李 作婷（台湾：国立自然科学博物館）
「臺灣史前文化與農業考古現況（台湾先史文化と農業考古の現在）」

14：30—15：00
村上 陽子（JFE21世紀財団アジア歴史研究助成・共同研究者）
「煎餅考」



休憩（15：00—15：20）

15：20—15：50
宇田津 徹朗（宮崎大学農学部）
「稲作史研究とプラント・オパール分析の最前線」

15：50—16：20
大川 裕子（上智大学文学部）
「農業の季節的サイクルから見る穀物の栽培と消費
—明清時代の農書の記載から—」

16：20—16：30
閉会挨拶



≪問い合わせ先≫　熊本大学人文社会科学研究部　担当：久保田
E-mail：jiu-bao-tian[アットマーク]kumamoto-u.ac.jp
Tel：096-342-2446

【主催】
熊本大学大学院人文社会科学研究部附属 国際人文社会科学研究センター・新資料学歴史理論領域 領域長：伊藤正彦
科研費・基盤研究（B）「殷文化における土器利用と穀物調理の相互関係に関する学際研究」 代表：久保田慎二
公益財団法人JFE21世紀財団　アジア・歴史研究助成「明清農書からさぐる季節の生産活動と食糧保存」 代表：大川裕子